

(様式第 10)

鳥大医事第 16-1

令和 2 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人鳥取大学

学長 中島 廣

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏 名	国立大学法人鳥取大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鳥取大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地1	電話 (0859) 33 - 1111
-------------------------	---------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(I) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科
⑦内分泌内科	⑧代謝内科
⑨感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科
⑪リウマチ科	
診療実績	
内分泌内科及び代謝内科で提供される医療は内分泌代謝内科にて、神経内科で提供される医療は脳神経内科にて提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ (無)
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科	②消化器外科
5血管外科	⑥心臓血管外科
3乳腺外科	7内分泌外科
4心臓外科	⑧小児外科
診療実績	
外科で提供される医療は外科系各診療にて、乳腺外科及び内分泌外科で提供される医療は乳腺内分泌外科にて提供している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科	2矯正歯科
③口腔外科	(歯科口腔外科)
歯科の診療体制	
本院は歯科医師を有する特定機能病院である。	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1内分泌代謝内科	2膠原病内科	3乳腺内分泌外科	4頭頸部外科	5ペインクリニック外科
6薬物療法内科	7形成外科	8腫瘍内科	9脳神経小児科	10病理診断科
11神経病理診断科	12リハビリテーション科	13脳神経内科	14	
15	16	17	18	19
				20
				21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	6床	0床	649床	697床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	330人	68人	383.2人	看 護 補 助 者	64人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	9人	2人	10人	理 学 療 法 士	19人	臨床検査技師	54人
薬 剤 師	53人	0人	53人	作 業 療 法 士	9人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	54人	0人	54人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	798人	16人	809.3人	臨 床 工 学 士	24人	医療社会事業従事者	11人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	4人	1人	5人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	272人
管理栄養士	11人	0人	11人	診療放射線技師	42人	その他の職員	44人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	50人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	36人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精 神 科 専 門 医	6人	放射線科専門医	16人
小 児 科 専 門 医	32人	脳神経外科専門医	6人
皮 膚 科 専 門 医	10人	整形外科専門医	12人
泌尿器科専門医	9人	麻 酔 科 専 門 医	11人
産婦人科専門医	17人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	234人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (原田 省) 任命年月日 平成29年 4月 1日

医療事故防止等対策委員会 委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	566.0人	10.2人	576.2人
1日当たり平均外来患者数	1409.4人	80.6人	1490.0人
1日当たり平均調剤数			1009.5剤
必要医師数			141.2人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			20人
必要（准）看護師数			339人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	621m ²	鉄筋コンクリート	病床数 26床 人工呼吸装置 (有)・無 その他の救急蘇生装置 (有)・無	心電計 (有)・無 心細動除去装置 (有)・無 ペースメーカー (有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 321m ² [移動式の場合] 台数 18台		病床数 26床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 28m ² [共用室の場合] 共用する室名			
化学検査室	453.2m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、全自動化学発光酵素免疫測定装置	
細菌検査室	127.5m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動同定感受性検査装置、血液培養装置、微生物分類同定分析装置	
病理検査室	93.3m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動免疫染色装置、自動染色装置、バーチャル・スライド方式による遠隔病理画像診断システム、液状処理細胞診システム	
病理解剖室	88.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 病理解剖台	
研 究 室	1,102.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 中央実験台、フリーザー、ドラフトチャンバー等	
講 義 室	406.0m ²	鉄筋コンクリート	室数 2 室	収容定員 366 人
図 書 室	1,777.0m ²	鉄筋コンクリート	室数 6 室	蔵 書 数 698,776冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		92.4%	逆紹介率	99.9%
算出根拠	A：紹介患者の数	12,291人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,353人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	3,762人		
	D：初診の患者の数	17,365人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中岡 明久	独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院 副院長・医療安全管理部長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ 無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ 無	1
前田 純子	NPO法人 岡山 SP 研究会 代表		医療を受ける者で、かつ医療従事者以外であり、医療安全管理についての知識を有する者として適任であるため。	有・ 無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 病院のホームページ及び大学のホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	21人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2. 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	56 ベーチェット病	29
2 筋萎縮性側索硬化症	30	57 特発性拡張型心筋症	54
3 脊髄性筋萎縮症	4	58 肥大型心筋症	7
4 原発性側索硬化症	0	59 拘束型心筋症	3
5 進行性核上性麻痺	28	60 再生不良性貧血	10
6 パーキンソン病	136	61 自己免疫性溶血性貧血	2
7 大脳皮質基底核変性症	5	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8 ハンチントン病	1	63 特発性血小板減少性紫斑病	30
9 神経有棘赤血球症	0	64 血栓性血小板減少性紫斑病	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病	4	65 原発性免疫不全症候群	1
11 重症筋無力症	76	66 IgA 腎症	38
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性嚢胞腎	13
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	45	68 黄色靱帯骨化症	13
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	69 後縦靱帯骨化症	45
15 封入体筋炎	1	70 広範脊柱管狭窄症	2
16 クロウ・深瀬症候群	0	71 特発性大腿骨頭壊死症	10
17 多系統萎縮症	25	72 下垂体性ADH分泌異常症	10
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	34	73 下垂体性TSH分泌亢進症	1
19 ライズゾーム病	6	74 下垂体性PRL分泌亢進症	15
20 副腎白質ジストロフィー	2	75 クッシング病	4
21 ミトコンドリア病	3	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22 もやもや病	24	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	25
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	61
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	3	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	1
28 全身性アミロイドーシス	10	83 アジソン病	0
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	46
30 遠位型ミオパチー	1	85 特発性間質性肺炎	26
31 ベスレムミオパチー	1	86 肺動脈性肺高血圧症	8
32 自己食空腔性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
34 神経線維腫症	23	89 リンパ脈管筋腫症	2
35 天疱瘡	11	90 網膜色素変性症	13
36 表皮水疱症	0	91 バッド・キアリ症候群	3
37 膿疱性乾癬(汎発型)	6	92 特発性門脈圧亢進症	1
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93 原発性胆汁性肝硬変	37
39 中毒性表皮壊死症	1	94 原発性硬化性胆管炎	2
40 高安動脈炎	19	95 自己免疫性肝炎	18
41 巨細胞性動脈炎	2	96 クローン病	34
42 結節性多発動脈炎	11	97 潰瘍性大腸炎	90
43 顕微鏡的多発血管炎	28	98 好酸球性消化管疾患	1
44 多発血管炎性肉芽腫症	7	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	6	101 腸管神経節細胞僅少症	0
47 パージャール病	4	102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	146	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	62	105 チャーヅ症候群	0
51 全身性強皮症	61	106 クリオピリン関連周期熱症候群	0
52 混合性結合組織病	25	107 若年性特発性関節炎	9
53 シェーグレン症候群	32	108 TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	20	109 非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	0	110 ブラウ症候群	0

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	6
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	20	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	11
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	25

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
308 進行性白質脳症	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309 進行性ミオクロノスアテカン	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310 先天異常症候群	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	326 大理石骨病	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	328 前眼部形成異常	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/ LMX1B関連腎症	0	329 無虹彩症	0
316 カルニチン回路異常症	0	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄	0
317 三頭酵素欠損症	0	331 特発性多中心性キャスルマン病	2
318 シトリン欠損症	0	332 膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319 セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333 ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ 呼吸ケアチーム加算
・ 歯科外来診療環境体制加算2	・ 後発医薬品使用体制加算1
・ 歯科診療特別対応連携加算	・ 病棟薬剤業務実施加算1
・ 特定機能病院入院基本料	・ 病棟薬剤業務実施加算2
・ 救急医療管理加算	・ データ提出加算
・ 超急性期脳卒中加算	・ 入退院支援加算
・ 診療録管理体制加算1	・ 認知症ケア加算
・ 医師事務作業補助体制加算1	・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 急性期看護補助体制加算	・ 精神疾患診療体制加算
・ 看護職員夜間配置加算	・ 精神科急性期医師配置加算
・ 看護補助加算	・ 排尿自立支援加算
・ 療養環境加算	・ 地域医療体制確保加算
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 無菌治療室管理加算1	・ 救命救急入院料3
・ 無菌治療室管理加算2	・ 救命救急入院料4
・ 緩和ケア診療加算	・ 特定集中治療室管理料1
・ 精神病棟入院時医学管理加算	・ 特定集中治療室管理料3
・ 精神科身体合併症管理加算	・ ハイケアユニット入院医療管理料1
・ 精神科リエゾンチーム加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 栄養サポートチーム加算	・ 新生児治療回復室入院医療管理料
・ 医療安全対策加算1	・ 小児入院医療管理料1
・ 感染防止対策加算1	・
・ 患者サポート体制充実加算	・
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ ハイリスク妊娠管理加算	・
・ ハイリスク分娩管理加算	・

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
・ 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・ 人工中耳植込術
・ 糖尿病合併症管理料	・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）
・ がん患者指導管理料イ	・ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・ がん患者指導管理料ロ	・ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・ がん患者指導管理料ハ	・ 喉頭形成手術（甲状軟骨固定用器具を用いたもの）
・ がん患者指導管理料ニ	・ 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）及び下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
・ 外来緩和ケア管理料	・ 内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・ 小児運動器疾患指導管理料	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・ 乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・ 婦人科特定疾患治療管理料	・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・ 院内トリアージ実施料	・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・ 外来放射線照射診療料	・ 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ ニコチン依存症管理料	・ 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ がん治療連携計画策定料	・ 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 外来排尿自立指導料	・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・ ハイリスク妊産婦連携指導料1	・ 肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
・ ハイリスク妊産婦連携指導料2	・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
肝炎インターフェロン治療計画料	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
薬剤管理指導料	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	内視鏡下筋層切開術
医療機器安全管理料 1	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
医療機器安全管理料 2	胸腔鏡下弁形成術
医療機器安全管理料(歯科)	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	経カテーテル大動脈弁置換術
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	胸腔鏡下弁置換術
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	経皮的僧帽弁クリップ術
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	経皮的中隔心筋焼灼術
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
遺伝学的検査	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
骨髓微小残存病変量測定	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
BRCA1/2遺伝子検査	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
がんゲノムプロファイリング検査	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
先天性代謝異常症検査	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
検体検査管理加算（Ⅰ）	経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
検体検査管理加算（Ⅳ）	補助人工心臓
国際標準検査管理加算	植込型補助人工心臓（非拍動流型）
遺伝カウンセリング加算	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胎児心エコー法	腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
ハッドアップティルト試験	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
人工膵臓検査、人工膵臓療法	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
長期継続頭蓋内脳波検査	体外衝撃波胆石破碎術
脳波検査判断料 1	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
光トポグラフィー	腹腔鏡下肝切除術
神経学的検査	体外衝撃波膵石破碎術
補聴器適合検査	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ ロービジョン検査判断料	・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ コンタクトレンズ検査料 1	・ 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 小児食物アレルギー負荷検査	・ 腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 内服・点滴誘発試験	・ 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・ 画像診断管理加算 1	・ 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・ 画像診断管理加算 2	・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・ ポジトロン断層撮影	・ 同種死体腎移植術
・ ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・ 生体腎移植術
・ CT撮影及びMRI撮影	・ 膀胱水圧拡張術
・ 冠動脈CT撮影加算	・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 外傷全身CT加算	・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ 心臓MRI撮影加算	・ 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・ 乳房MRI撮影加算	・ 人工尿道括約筋植込・置換術
・ 小児鎮静下MRI撮影加算	・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・ 外来化学療法加算 1	・ 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 連携充実加算	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 無菌製剤処理料	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	・ 胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・ 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
・ 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
・ がん患者リハビリテーション料	・ 輸血管理料Ⅰ

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 歯科口腔リハビリテーション料2	・ 輸血適正使用加算
・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ 医療保護入院等診療料	・ 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・ 硬膜外自家血注入	・ 歯周組織再生誘導手術
・ エタノールの局所注入(甲状腺)	・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・ エタノールの局所注入(副甲状腺)	・ 麻酔管理料(Ⅰ)
・ 導入期加算1	・ 麻酔管理料(Ⅱ)
・ 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・ 放射線治療専任加算
・ 磁気による膀胱等刺激法	・ 外来放射線治療加算
・ CAD/CAM冠	・ 高エネルギー放射線治療
・ 歯科技工加算1及び2	・ 1回線量増加加算
・ センチネルリンパ節加算	・ 強度変調放射線治療(IMRT)
・ 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・ 画像誘導放射線治療(IGRT)
・ 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・ 体外照射呼吸性移動対策加算
・ 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ 定位放射線治療
・ 後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・ 椎間板内酵素注入療法	・ 画像誘導密封小線源治療加算
・ 腫瘍脊椎骨全摘術	・ 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・ 脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・ 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・ 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・ 病理診断管理加算2
・ 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
・ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・ 口腔病理診断管理加算2
・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ クラウン・ブリッジ維持管理料
・ 治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・ 歯科矯正診断料

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 角膜移植術（内皮移植加算）	・ 顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・ 羊膜移植術	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・骨髄微小残存病変量測定	・
・前眼部三次元画像解析	・
・遺伝学的検査(包括的なゲノムプロファイル検査)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年15～20回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 19例 / 剖検率 3.5%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Galectin-3による生体内幹細胞障害の機序解明と治療効果の検証	今村武史	薬物療法内科	6,630,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エキソソーム解析による新規インスリン抵抗性・2型糖尿病治療標的の探索	大倉毅	第一内科診療科群	2,080,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン症候群の病態解明へのChromogranin Bを含むシース探索研究	瀧川洋史	神経内科	2,210,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢神経機能障害に着目した福山型筋ジストロフィーの治療法開発研究	岡崎哲也	遺伝子診療科	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
効果的心不全栄養療法に向けたカルニチン欠乏・ダイナペニン・横隔膜機能障害連関解明	山本一博	第一内科診療科群	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺扁平上皮癌患者の不良予後に関与するMaspinの分子機構の解明	梅北善久	病理診断科群	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
病院における災害時業務継続計画の充実による被害軽減に関する研究	本間正人	救急科	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
情動刺激で惹起される脳活動の測定に基づく慢性腰痛患者の評価の試み	谷島伸二	整形外科	2,990,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規ドラッグデリバリーシステムを用いたKv7チャネル開口薬膀胱内注入の確立	本田正史	泌尿器科	1,690,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
地域高齢糖尿病患者の「病い」の認知と療養行動障壁の関連について	谷口晋一	総合診療外来	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
薬剤耐性克服を目指した新規治癒療法の開発	穴戸裕二	第一外科診療科群	2,730,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ケトン体はうつ病、PTSDの新たな治療となりうるか	山梨豪彦	精神科	2,080,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1-131I内用療法後の唾液腺障害に対してビタミンEは有用か？	北川寛	放射線診療科群	1,170,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
てんかん性スバズムの発作時脳波解析による脳梁離断術に対する予後予測因子の解明	金井創太郎	脳神経小児科	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
lncRNAによる癌幹細胞制御メカニズムに基づいた肝細胞癌治療・診断法の開発	坂口弘美	放射線診療科群	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
食道癌に対するポルフィノーム及びペルテポルフィンを用いた光線力学的治療の基盤研究	斧山巧	第二内科診療科群	780,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間質性肺炎におけるアンチセンス長鎖ノンコーディングRNAの機能解析	高田美樹	第三内科診療科群	1,950,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウロモジュリンによる糸球体濾過の調節と新たな腎保護メカニズムの解明	高田知朗	第二内科診療科群	1,820,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微小乳頭癌の悪性を規定する因子の探索	野坂加苗	病理診断科群	2,340,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CRISPR-Cas9を用いた痔瘻のR-spondin-LGRシグナル機能解析	渡邊淨司	高次集中治療部	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
早期浸潤性肺腺癌の充実/微小乳頭型における分子生物学的プロファイル解析	城所嘉輝	高次集中治療部	2,210,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺高悪性度神経内分泌癌のPhenotype分類と新規分子標的治療開発	春木朋広	胸部外科診療科群	2,080,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性肺傷害に対する新規インフラマソームシグナル経路を介した傷害保護効果の検討	倉敷達之	手術部	2,210,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
集中治療後の認知・精神障害におけるxCTを介した酸化ストレスとグルタミン酸の制御	北川良憲	麻酔診療科群	2,340,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経栄養因子高発現間葉系幹細胞移植によるALS治療の試み	本多直人	脳神経内科	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
関節軟骨の内軟骨性骨化による菲薄化の証明と変形性関節症との関連性	柳樂慶太	整形外科	2,860,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
夜間頻尿を規定する膀胱時計遺伝子の決定	木村有佑	泌尿器科	2,210,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超音波診断装置を用いた唾液腺腫瘍の3D血流診断法の確立	松田枝里子	頭頸部診療科群	2,600,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新しい耳管機能検査	矢間敬章	頭頸部診療科	2,470,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
白内障術後眼内炎対策の戦略的分子解析	佐々木慎一	眼科	1,690,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔扁平上皮癌の予後とMaspinの細胞質発現およびその役割	川崎誠	歯科口腔外科	2,210,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト間葉系幹細胞を利用した効率的な新規口唇口蓋裂治療戦略	奈良井節	歯科口腔外科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エキソソーム解析による日米間におけるインスリン抵抗性の差の分子機構の解明	大倉毅	第一内科診療科群	15,210,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
椎間関節性腰痛における関節液の生化学的解析と関節軟骨の変性過程の解析	永島英樹	整形外科	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心不全患者における味覚異常の特徴と予後への影響	衣笠良治	第一内科診療科群	650,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HFpEF患者の予後予測における低容量運動負荷心エコー図検査の有用性の検討	春木伸彦	第一内科診療科群	650,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非プリン型キサンチン酸化還元酵素阻害剤によるアルツハイマー病新規治療薬	加藤信介	病理診断科群	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
根治的内視鏡治療可能な早期食道癌の死因に関するがん登録を利用したコホート研究	河口剛一郎	第二内科診療科群	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
LCTFを活かした消化器癌新規イメージング法の開発	磯本一	第二内科診療科群	1,170,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン病および類縁疾患におけるすくみ現象の解明	和田健二	神経内科	520,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経疾患の神経可塑性変化を用いた薬物治療効果の評価:新しい症状の把握法の開発	花島律子	神経内科	1,040,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小計				41件 88,010,000円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新たな成長障害—GH-IGFシグナル蛋白遺伝子異常症の病態解明	鞍嶋有紀	小児科	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NLRP3の活性化抑制をターゲットとした精神疾患の新規治療薬の開発	岩田正明	精神科	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
統合失調症の臨床評価における光トポグラフィの実用化	朴盛弘	精神科	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
金属アーチファクト抑制可能な単エネルギーX線CTによる放射線治療計画の検討	内田伸恵	放射線診療科群	650,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃適腹膜転移メカニズムの解明:新たな診断治療法開発を目指して	藤原義之	第一外科診療科	650,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CO2ガスによる気胸法を用いた肺癌に対するロボット支援手術の安全性と有用性の検討	中村廣繁	胸部外科診療科	390,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脱分化脂肪細胞 (DFAT) を用いた細胞シートによる排尿筋活動治療の確立	武中篤	泌尿器科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
感染性角膜炎における抗炎症治療へ向けての分子解析	井上幸次	眼科	1,170,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪幹細胞の作用メカニズムの解明と新たな乳房再建法の試み	陶山淑子	形成外科	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNA損傷修復能による小細胞肺癌に対する個別化医療の確立	牧野晴彦	第三内科診療科群	1,170,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
予後不良の甲状腺癌を識別する血清中癌特異的自己抗体検出法の開発	伊澤正一郎	第一内科診療科群	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
統合失調症の意欲・発動性の低下に関する脳機能画像を用いた研究	兼子幸一	精神科	1,690,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自然リンパ球とTLRに着目したアトピー性皮膚炎におけるバリア機能異常の制御	杉田和成	皮膚科	1,690,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症心不全に対する脂肪細胞由来再生細胞シートを用いた心筋再生療法の開発	西村元延	心臓血管外科	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生物発光モデルマウスを用いた子宮内膜症治療標的分子の探索	谷口文紀	女性診療科群	780,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな選択的Estrogen受容体調節薬を用いた子宮内膜症治療の開発	原田省	女性診療科群	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
グローバルとローカルを統合する新規薬剤耐性 (AMR) サーベイランスシステムの構築	千酌浩樹	感染制御部	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウイルス性肝細胞癌の早期診断の徹底と非B非C型肝炎細胞癌のサーベイランスへの挑戦	岡野淳一	第二内科診療科群	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
手術用マスタースレイブ型ロボットにおける精密な力覚伝達システムの開発	森寛修一	泌尿器科	1,560,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性冠症候群患者への教育介入と長期予後の関係にエゴが及ぼす影響	柳原清孝	第一内科診療科群	520,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
開放隅角緑内障における新規病態マーカーの戦略的探索	川本由紀美	眼科	910,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
FABP4のインスリン抵抗性・分泌能への臨床的検討および直接作用の検討	藤岡洋平	第一内科診療科群	1,690,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒトPS細胞の肝細胞分化指向性に関わる精製修飾の解明	福嶋健志	小児科	2,730,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌由来エクソソームによるTAMを介した腫瘍進展機構の解明	森本昌樹	第一外科診療科群	1,950,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行性腎癌における至適逐次薬物療法マーカーとなるmicroRNAの同定	岩本秀人	泌尿器科	1,430,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PHD阻害剤を用いたがん微小環境の改善による頭頸部癌新規治療戦略の開発	小山哲史	頭頸部診療科群	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
声帯麻痺に対する高濃度脂肪由来再生細胞含有自家脂肪注入	森崎剛史	頭頸部診療科群	1,170,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
保険薬局薬剤師による健康食品利用患者への管理指導ツール使用の有用性評価	安達真紀子	薬剤部	530,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人と環境にやさしい新たなマッソン・トリクローム染色法の開発とその有用性の実証	松重貴大	病理部	380,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
cell free EBERの臨床応用へ向けた局在の検討	橋本祐樹	検査部	540,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規抗癌剤 (バルボシクリブ) の血漿中薬物濃度と血小板減少との関連性に関する検討	小玉菜緒	薬剤部	540,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究 (J-DREAMS)	山本一博	第一内科診療科群	300,000	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
クッシング症候群術後の至適補充療法の確立	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	100,000	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
ハイスル消化管間質腫瘍 (GIST) に対する完全切除後の治療に関する研究	村上 裕樹	第一外科診療科群	66,000	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 受託研究費
視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム (GF01) による自閉スペクトラム症 (ASD) の診断能に関する多施設共同試験	前垣 義弘	脳神経小児科	13,361,530	日本医療研究開発機構 受託研究費
小児期のウイルス性肝炎の病態解明と治療の標準化に関する研究 (小児B型肝炎に対する治療と予後に関する研究)	村上 潤	小児科	320,000	日本医療研究開発機構 受託研究費
医師主導治療の実施の支援及び推進に関する研究 (治療の実施に関する研究 (GALA))	藤原 義之	第一外科診療科群	396,279	日本医療研究開発機構 受託研究費
次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究 (医師主導治療の実施)	阪本 智宏	第三内科診療科群	2,340,000	日本医療研究開発機構 受託研究費
最新の高度変異解析技術を用いた「胃カメラしながら癌がん検診」の開発 (洗浄十二指腸液回収法の標準化)	松本 和也	第二内科診療科群	3,900,000	日本医療研究開発機構 受託研究費
多面的アプローチによる子宮内膜症、子宮腺筋症の病態解明、および予防・治療法の開発 (新規SERMを用いた子宮内膜症治療の可能性)	原田 省	女性診療科群	2,000,000	日本医療研究開発機構 受託研究費
多系統萎縮症の革新的治療法の創出を目指した研究 (第II相試験の実施)	花島 律子	脳神経内科	270,000	日本医療研究開発機構 受託研究費
未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease (IRUD)): 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究 (中国地区における未診断疾患に対する診断体制の構築に関する研究)	前垣 義弘	遺伝子診療科	5,200,000	日本医療研究開発機構 受託研究費
新生児マススクリーニング対象拡大の候補疾患を学術的観点から選定・評価するためのエビデンスに関する調査研究 (ゴシェ病・副腎白質ジストロフィーの新生児マススクリーニングに関する調査研究)	成田 綾	脳神経小児科	299,000	日本医療研究開発機構 受託研究費

小計	43件
	64,342,809円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
薬事申請をめざした治療法のない神経線維腫症1型の皮膚腫瘍に対する有効で安全な局所大量投与療法薬開発のための医師主導治験	吉田 雄一	皮膚科	3,824,340	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
剖検脳・罹患組織を用いたマルチオミクス解析による神経変性タウオパチーの病態解明と創薬標的の同定(神経変性タウオパチーの分子病理学・臨床的解析)	花島 律子	脳神経内科学	1,105,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための医師主導治験(治験責任医師として治験の実施)	渡辺 保裕	脳神経内科学	1,560,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性核上性麻痺と関連タウオパチーの患者レジストリと試料レボジトリを活用した診療エビデンスの構築	花島 律子	脳神経内科学	3,250,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用(うつ病関連血中物質の変化に着目した治療的介入のための双方向性研究)	岩田 正明	精神科	1,100,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
小児神経疾患・先天代謝異常症に対する遺伝子治療法開発(AAVベクターによるライソゾーム病、Niemann-Pick病に対する遺伝子治療法開発)	成田 綾	脳神経小児科	2,600,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
ROSI融合遺伝子陽性の進行固形がんに対する治療薬開発を目指した研究(ROSI融合遺伝子変異陽性の進行固形がん患者を対象としたブリガチニブの多施設共同バスケット試験(医師主導治験)。遺伝子スクリーニング、コンパニオン診断薬の開発および臨床ゲノムデータベースの構築。)	小谷 昌広	第三内科診療科群	650,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
超高度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究(①肺癌後診におけるEIA診断キットの有用性の検討、②癌がんハイスル患者群での尿中蛋白質断片の早期診断における有用性の前方視的研究、③肺扁平上皮癌と小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発研究)	阪本 智宏	第三内科診療科群	650,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
独創的な尿中蛋白質断片解析法により同定した高感度の早期肺癌・膵臓癌診断マーカーの検証への導入を目指した多施設検証と企業化の実現(肺癌試料と臨床情報の収集、臨床試験の施行)	阪本 智宏	第三内科診療科群	650,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
多様な多施設共同非介入臨床研究における中央IRBの基盤整備とその効率的運用に関する研究	遠藤 佑輔	新規医療研究推進センター	650,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出(骨髄小脳変性症の臨床症状とプリズム順応変化との対応)	花島 律子	脳神経内科	500,000	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
迅速ウイルス検出機器導入実証	千酌 浩樹	感染制御部	3,622,130	補 (委) 日本医療研究開発機構 受託研究費
鳥取県ドクターカー運営事業費補助金	病院長 原田 省		2,829,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県感染症指定医療機関運営費補助金	病院長 原田 省		3,992,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県医師・看護職員の仕事と育児の両立応援事業補助金	病院長 原田 省		237,000	補 (委) 鳥取県
DAMT養成等研修に係る旅費補助事業	病院長 原田 省		300,000	補 (委) 鳥取県
防災訓練等参加支援事業補助金	病院長 原田 省		531,000	補 (委) 鳥取県
認定看護師養成研修受講補助事業	病院長 原田 省		750,000	補 (委) 鳥取県
医療情報ネットワーク整備事業(R1保守)	病院長 原田 省		12,499,000	補 (委) 鳥取県
周産期医療に関わる専門的スタッフの養成事業	病院長 原田 省		4,028,000	補 (委) 鳥取県
看護師の特定行為研修受講補助事業	病院長 原田 省		1,561,000	補 (委) 鳥取県
新人看護職員研修事業	病院長 原田 省		514,000	補 (委) 鳥取県
産科医等確保支援事業	病院長 原田 省		1,216,000	補 (委) 鳥取県
新生児医療担当医確保支援事業	病院長 原田 省		416,000	補 (委) 鳥取県
救急勤務医支援事業	病院長 原田 省		948,000	補 (委) 鳥取県
病院内保育所運営事業	病院長 原田 省		8,517,000	補 (委) 鳥取県
在宅医療推進のための看護師育成支援事業(T-Home Oriented Care:HOC)	病院長 原田 省		21,268,000	補 (委) 鳥取県
地域医療連携研修会開催支援事業	病院長 原田 省		1,428,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県原子力発電施設等緊急時安全対策費補助金	病院長 原田 省		2,469,500	補 (委) 鳥取県
鳥取県がん専門医療従事者育成支援負担金	病院長 原田 省		284,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県がん専門医資格取得支援事業	病院長 原田 省		518,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県院内がん登録支援事業補助金	病院長 原田 省		833,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県新型インフルエンザ対策施設・設備整備費補助金(感染症外来協力医療機関)	病院長 原田 省		290,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県新型インフルエンザ対策施設・設備整備費補助金(新型インフルエンザ患者入院医療機関)	病院長 原田 省		290,000	補 (委) 鳥取県
鳥取県外国人患者に対する医療提供体制整備補助金(A事業)	病院長 原田 省		24,880	補 (委) 鳥取県
鳥取県外国人患者に対する医療提供体制整備補助金(C事業)	病院長 原田 省		1,029,380	補 (委) 鳥取県
鳥取県感染症指定医療機関感染症対策設備整備費補助金	病院長 原田 省		8,415,000	補 (委) 鳥取県
中小企業経営支援等対策費補助金	病院長 原田 省		269,386	補 (委) 公益財団法人鳥取県産業振興機構
がん診療連携拠点病院機能強化事業	病院長 原田 省		11,662,000	補 (委) 厚生労働省
次世代医療機器連携拠点整備等事業	病院長 原田 省		14,281,083	補 (委) 日本医療研究開発機構

(注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計	40件
	121,561,699円
合計	124件
	273,914,508円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Akasaka T, Watanabe T, Mukai-Yatagai N, Sasaki N, et al.	第一内科診療科群	Neurological Prognostic Value of Adjusted Ca(2+) Concentration in Adult Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest	Int Heart J. 2020 Mar ;61(2):295-300.	Case report
2	Kono Y, Saito H, Miyauchi W, Shimizu S, et al.	第一外科診療科群	Increased PD-1-positive macrophages in the tissue of gastric cancer are closely associated with poor prognosis in gastric cancer patients	BMC Cancer. 2020 Mar 4;20(1):175.	Original Article
3	Morisaki T, Fukuhara T, Matsuda E, et al.	頭頸部診療科群	Ultrasonography findings in immunoglobulin G4-related lymphadenopathy: a report of two cases	Med Ultrason. 2020 Mar ;22(1):105-107.	Case report
4	Okamoto K, Koda M, Okamoto T, et al.	第二内科診療科群	Serum miR-379 expression is related to the development and progression of hypercholesterolemia in non-alcoholic fatty liver disease	PLoS One. 2020 Feb ;15(2)(オンライン)	Original Article
5	Matsuzawa K, Izawa S, Kato A, et al.	第一内科診療科群	Low signal intensities of MRI T1 mapping predict refractory diplopia in Graves' ophthalmopathy	Clin Endocrinol (Oxf). 2020 Feb 23.	Original Article
6	Sakaguchi T, Kono Y, Itaba N, et al.	第二内科診療科群	Identification of a Novel Deactivating Small-Molecule Compound for Fibrogenic Hepatic	Yonago Acta Med. 2020 Feb 20;63(1):79-87.	Original Article
7	Morimoto M, Honjo S, Sakamoto T, et al.	第一外科診療科群	Prognostic Impact of Pre- and Post-operative P-CRP Levels in Pancreatic Cancer Patients	Yonago Acta Med. 2020 Feb 20;63(1):70-78.	Original Article
8	Hasegawa R, Yashima K, Ikebuchi Y, et al.	第二内科診療科群	Characteristics of Advanced Colorectal Cancer Detected by Fecal Immunochemical Test Screening in Participants with a Negative Result the Previous Year	Yonago Acta Med. 2020 Feb 20;63(1):63-69.	Original Article
9	Kawaguchi K, Isomoto H.	第二内科診療科群	Validation of AIMS65 to predict outcomes in acute variceal bleeding: Which risk scoring system outperforms in real practice?	Dig Endosc. 2020 Feb 20.	Others
10	Haruki T, Kubouchi Y, Takagi Y, et al.	呼吸器外科	Comparison of medium-term survival outcomes between robot-assisted thoracoscopic surgery and video-assisted thoracoscopic surgery in treating primary lung	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Feb 13.	Original Article
11	Fujii M, Isomoto H.	新規医療研究推進センター	The next generation of endoscopy: Harmony with artificial intelligence and robotic assisted devices	Dig Endosc. 2020 Feb 11.(オンライン)	Others
12	Hanaki T, Noda T, Eguchi H, et al.	第一外科診療科群	Successful Liver Transplantation for Liver Failure With Erythropoietic Protoporphyrria by Covering the Operating Theater Lights With Polyimide Film: A Case Report	Transplant Proc. 2020 Mar;52(2):625-629.	Original Article
13	Onda K, Fukuhara T, Matsuda E, et al.	検査部	Impact of Screening for Salivary Gland by Ultrasonography	Yonago Acta Med. 2020 Jan 30;63(1):42-46.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
14	Kimura R, Yamada N, Yoshida Y, et al.	皮膚科	Recurrent Phaeohyphomycosis due to <i>Phaeoacremonium alvesii</i> Identified with Internal Transcribed Spacer and Beta-tubulin Gene	Acta Derm Venereol. 2020 Jan 30;100(1)(オンライン)	Case report
15	Ichiki T, Sugita K, Furue M, et al.	皮膚科	An Intimate Relationship Between Intralesional Depigmentation and Peripheral Nervous System in Lichen Simplex Chronicus	Acta Derm Venereol. 2020 Jan 30;100(1)(オンライン)	Letter
16	Nakamura Y, Kishimoto Y, Harada S, et al.	心臓血管外科	Tolvaptan can limit postoperative paroxysmal atrial fibrillation occurrence after open-heart	Surg Today. 2020 Jan 24.	Original Article
17	Ota M, Takeda S, Pu S, et al.	精神科	The relationship between cognitive distortion, depressive symptoms, and social adaptation: A survey in	J Affect Disord. 2020 Mar 15;265:453-459.	Original Article
18	Onoyama T, Takeda Y, Yamashita T, et al.	第二内科診療科群	Programmed cell death-1 inhibitor-related sclerosing cholangitis: A systematic review	World J Gastroenterol. 2020 Jan 21;26(3):353-365.	Original Article
19	Watanabe Y, Raaphorst J, Izumi Y, et al.	脳神経内科	Cognitive and behavioral status in Japanese ALS patients: a multicenter study	J Neurol. 2020 Jan 18.(オンライン)	Original Article
20	Minato H, Hisatome I, Kurata Y, et al.	麻酔診療科群	Pretreatment with cilnidipine attenuates hypoxia/reoxygenation injury in HL-1 cardiomyocytes through enhanced NO production and action potential shortening	Hypertens Res. 2020 Jan 15.	Original Article
21	Shiraya S, Nakamura Y, Harada S, et al.	心臓血管外科	Debranching thoracic endovascular aortic repair for distal aortic arch aneurysm in elderly patients aged over 75years old	J Cardiothorac Surg. 2020 Jan 10;15(1):13.	Original Article
22	Tajiri Y, Wada-Isoe K, Tanaka K, et al.	脳神経内科	A Single-institution Study on Predictors of Short-term Progression from Mild Cognitive Impairment in Parkinson's Disease to Parkinson's Disease with	Yonago Acta Med. 2020 Jan 9;63(1):28-33.	Original Article
23	Yamamoto M, Saito H, Hara K, et al.	第一外科診療科群	Combination of C-reactive Protein and Monocyte Count Is a Useful Prognostic Indicator for Patients With Colorectal Cancer	In Vivo. 2020 Jan-Feb;34(1):299-305.	Original Article
24	Ohta Y, Kishimoto J, Kitao S, et al.	放射線科	Investigation of myocardial extracellular volume fraction in heart failure patients using iodine map with rapid-kV switching dual-energy CT: Segmental comparison with MRI T1 mapping	J Cardiovasc Comput Tomogr. 2019 Dec 24:S1934-5925(19)30332-6.	Original Article
25	Ehara Y, Koga M, Imafuku S, et al.	皮膚科	Distribution of diffuse plexiform neurofibroma on the body surface in patients with neurofibromatosis 1	J Dermatol. 2020 Feb;47(2):190-192.	Letter
26	Goto H, Ito A, Shindo M, et al.	皮膚科	Sarcomatoid squamous cell carcinoma with intermediary characteristics of squamous cell carcinoma and atypical	J Dermatol. 2020 Feb;47(2):e41-e43.	Letter

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
27	Fujiwara K, Yazama H, Donishi R, et al.	頭頸部診療科群	Inhibitory Effects of Glucosylceramide on Tumorigenesis Induced by a Carcinogen in Mice	Laryngoscope. 2019 Dec 6.	Original Article
28	Miyazaki D, Fukagawa K, Fukushima A, et al.	眼科	Air pollution significantly associated with severe ocular allergic inflammatory diseases	Sci Rep. 2019 Dec 3;9(1):18205.	Original Article
29	Wada T, Tanishima S, Osaki M, et al.	リハビリテーション部	Relationship between sarcopenia and pain catastrophizing in patients with lumbar spinal stenosis: A cross-sectional study	Osteoporos Sarcopenia. 2019 Dec;5(4):132-136.	Original Article
30	Mae Y, Takata T, Isomoto H.	高次集中治療部	Successful treatment of tetanus with magnesium in a dialysis patient	Ther Apher Dial. 2019 Nov 24. (オンライン)	Letter
31	Akasaka T, Sugihara S, Kinugasa Y, et al.	第一内科診療科群	A case of cardiac sarcoidosis with left ventricular thrombus formation after administration of prednisolone	J Med Ultrason (2001). 2020 Jan;47(1):139-140.	Case report
32	Hanajima R, Ugawa Y.	脳神経内科	Triad TMS of the human motor cortex	Neurosci Res. 2019 Nov 12;S0168-0102(19)30612-1.	Review
33	Watanabe Y.	脳神経内科	[Amyotrophic Lateral Sclerosis and Frontotemporal Dementia]	Brain Nerve. 2019 Nov;71(11):1227-	Review
34	Sakamoto T, Yagyu Y, Uchinaka EI, et al.	第一外科診療科群	Predictive Significance of C-reactive Protein-to-albumin Ratio for Postoperative Pancreatic Fistula After Pancreaticoduodenectomy	Anticancer Res. 2019 Nov;39(11):6283-6290.	Original Article
35	Uchinaka EI, Amisaki M, Yagyu T, et al.	第一外科診療科群	Prognostic Significance of Pre-surgical Combined Platelet Count and Neutrophil-Lymphocyte Ratio for Patients With Hepatocellular Carcinoma	In Vivo. 2019 Nov-Dec;33(6):2241-2248.	Original Article
36	Tsounapi P, Honda M, Hikita K, et al.	泌尿器科	Oxidative Stress Alterations in the Bladder of a Short-period Type 2 Diabetes Rat Model: Antioxidant Treatment Can Be Beneficial for the Bladder	In Vivo. 2019 Nov-Dec;33(6):1819-1826.	Original Article
37	Harada T, Sueda Y, Goto H, et al.	第三内科診療科群	Group A Streptococcus Infection-Induced Polyarteritis Nodosa in an Adult Patient Complicated With Diffuse Fasciitis	J Clin Rheumatol. 2019 Oct 29. (オンライン)	Original Article
38	Nagata H, Komatsu H, Nagaya Y, et al.	女性診療科群	Comparison of Total Laparoscopic Hysterectomy with Abdominal Total Hysterectomy in Patients with Benign Disease: A Retrospective Cohort Study	Yonago Acta Med. 2019 Oct 25;62(4):273-277.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
39	Tanaka T, Matsubara K, Fukuda A, et al.	放射線部	ESTIMATION OF Hp(3) TO THE EYE LENS OF INTERVENTIONAL RADIOLOGISTS-RELATION BETWEEN THE EYE LENS DOSE AND RADIOLOGIST'S HEIGHT	Radiat Prot Dosimetry. 2019 Oct 12(オンライン)	Original Article
40	Torihashi K, Ogura T, Hosoya T, et al.	脳神経外科	Usefulness of the Lone Star Retractor System for harvesting the superficial temporal artery: technical note	Br J Neurosurg. 2019 Oct 3:1-4.	Original Article
41	Park D, Hamada T, Nakai T, et al.	内科	Influence of a community-based approach to improve risk factors of lifestyle diseases by Japanese public health nurses: A case-control	Aust J Gen Pract. 2019 Oct;48(10):713-721.	Original Article
42	Nagira K, Enokida M, Hayashi I, et al.	整形外科	A Simple Method to Reduce the Incidence of Cyclops Lesion after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction	J Knee Surg. 2019 Sep 27.	Original Article
43	Izumi H, Kodani M, Kurai J, et al.	第三内科診療科群	Nivolumab-induced cholangitis in patients with non-small cell lung cancer: Case series and a review of literature	Mol Clin Oncol. 2019 Nov;11(5):439-446.	Original Article
44	Shimizu S, Saito H, Kono Y, et al.	第一外科診療科群	Prognostic Significance of Pre- and Post-operative Red-Cell Distribution Width in Patients with	J Gastrointest Surg. 2019 Sep 16.	Original Article
45	Okuno K, Yoneda N, Nishimura R, et al.	小児科	Juvenile Granulosa Cell Tumor with Elevated Peripheral Interleukin-6 Level Shows Prolonged Fever and Delayed Puberty	Yonago Acta Med. 2019 Sep 13;62(3):263-267.	Original Article
46	Yumioka T, Honda M, Nishikawa R, et al.	泌尿器科	Sarcopenia as a significant predictive factor of neutropenia and overall survival in urothelial carcinoma patients underwent gemcitabine and cisplatin or	Int J Clin Oncol. 2020 Jan;25(1):158-164.	Original Article
47	Murakami Y, Saito H, Shimizu S, et al.	第一外科診療科群	Increased regulatory B cells are involved in immune evasion in patients with gastric cancer	Sci Rep. 2019 Sep 11;9(1):13083.	Original Article
48	Nakanishi M, Watanabe Y, Honda N, et al.	脳神経内科	Dynamics of host and graft after cell sheet transplantation: Basic study for the application of amyotrophic lateral sclerosis	Brain Res. 2019 Dec 1;1724:146444.	Case report
49	Nagira K, Taniguchi F, Nakamura K, et al.	女性診療科群	Tokishakuyakusan, a Kampo medicine, attenuates endometriosis-like lesions and hyperalgesia in murine with endometriosis-like	Am J Reprod Immunol. 2019 Nov;82(5):e13182.	Original Article
50	Mukai-Yatagai N, Ohta Y, Amisaki R, et al.	第一内科診療科群	Myocardial delayed enhancement on dual-energy computed tomography: The prevalence and related factors in patients with suspicion of coronary artery disease	J Cardiol. 2019 Sep 6:S0914-5087(19)30263-1.	Original Article
51	Kitsuda Y, Tanimura C, Inoue K, et al.	リハビリテーション部	Effectiveness of ultrasonographic skeletal muscle assessment in patients after total knee	Osteoporos Sarcopenia. 2019 Sep;5(3):94-101.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
52	Hagino H, Wada T.	リハビリテーション部	Osteoporosis liaison service in Japan	Osteoporos Sarcopenia. 2019 Sep;5(3):65-68.	Review
53	Nakamura H, Taniguchi Y, Haruki T.	呼吸器外科	[Securing and Treatment of Interlobar Pulmonary Artery in Severe Insufficient Interlobar Fissure of the Lung]	Kyobu Geka. 2019 Sep;72(10):829-833.	Review
54	Shishido Y, Saito H, Shimizu S, et al.	第一外科診療科群	Prognostic significance of platelet α -C-reactive protein multiplier in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Surg Today. 2020 Feb;50(2):185-192.	Original Article
55	Teramoto K, Takeda T, Matsumura Y, et al.	医療情報部	Evaluation of Treatment Success Rate Among Antihyperuricemic Using Real-World Data	Stud Health Technol Inform. 2019 Aug 21;264:1051-1055.	Original Article
56	Yamamoto K, Koretsune Y, Kinugasa Y, et al.	第一内科診療科群	The preventive approach to degenerative aortic stenosis should depart from the approach to atherosclerotic diseases: A Japanese perspective	Eur J Prev Cardiol. 2019 Aug 19.	Review
57	Okita A, Nakayama Y, Ito A, et al.	皮膚科	Histopathological pattern of recurrent ossifying fibromyxoid tumour showing a soft tissue metastasis after repeated local	Australas J Dermatol. 2020 Feb;61(1):e117-e119.	Letter
58	Shimizu D, Miyazaki D, Ehara F, et al.	眼科	Effectiveness of 16S ribosomal DNA real-time PCR and sequencing for diagnosing bacterial keratitis	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2020 Jan;258(1):157-166.	Original Article
59	Fujiwara K, Matsumoto K, Ueda N, et al.	頭頸部診療科群	Novel mouthpiece for reducing the gag reflex during esophagogastroduodenoscopy	Dig Endosc. 2019 Aug 12.	Original Article
60	Kobayashi E, Matsumoto H, Hayashi I, et al.	リハビリテーション部	Age-related changes in muscle elasticity around the shoulder joint in young male baseball players: A prospective longitudinal study	J Orthop Sci. 2019 Aug 8:S0949-2658(19)30201-5.	Original Article
61	Shimizu T, Hanajima R, Shirota Y, et al.	脳神経内科	Plasticity induction in the pre-supplementary motor area (pre-SMA) and SMA-proper differentially affects visuomotor sequence	Brain Stimul. 2020 Jan-Feb;13(1):229-238.	Original Article
62	Matsunaga T, Saito H, Fukumoto Y, et al.	第一外科診療科群	The postoperative platelet distribution width is useful for predicting the prognosis in patients with esophageal squamous cell	Surg Today. 2020 Feb;50(2):123-133.	Original Article
63	Enokida M, Kanaya H, Uehara K, et al.	整形外科	An experimental comparative study of drilling efficiency and temperature elevation with unmodified and modified medical	Heliyon. 2019 Aug 2;5(8):e02189.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
64	Harada T, Taniguchi F, Amano H, et al.	女性診療科	Adverse obstetrical outcomes for women with endometriosis and adenomyosis: A large cohort of the Japan Environment and Children's Study	PLoS One. 2019 Aug 2;14(8):e0220256.	Original Article
65	Komatsu H, Oishi T, Sato S, et al.	女性診療科	Evaluating Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting and Food Intake in Patients With Gynecologic Cancer	Anticancer Res. 2019 Aug;39(8):4555-4560.	Original Article
66	Amisaki M, Yagyu T, Uchinaka EI, et al.	第一外科診療科群	Prognostic Value of DEPDC1 Expression in Tumor and Non-tumor Tissue of Patients With Hepatocellular Carcinoma	Anticancer Res. 2019 Aug;39(8):4423-4430.	Original Article
67	Kimura Y, Honda M, Sasaki R, et al.	泌尿器科	The circadian rhythm of bladder clock genes in the spontaneously hypersensitive rat	PLoS One. 2019 Jul 25;14(7):e0220381.	Original Article
68	Onoyama T, Takeda Y, Kato M, et al.	第二内科診療科群	Peroral cholangioscopy of programmed cell death-1 inhibitor-related sclerosing cholangitis: three case reports	Endoscopy. 2019 Dec;51(12):E402-E403.	Original Article
69	Fujiwara K, Koyama S, Fukuhara T, et al.	頭頸部診療科群	Successful Surgical Treatment for Dysphagia Secondary to Descending Necrotizing Mediastinitis	Yonago Acta Med. 2019 Jul 20;62(3):253-257.	Original Article
70	Kanaya H, Enokida M, Uehara K, et al.	整形外科	Thermal damage of osteocytes during pig bone drilling: an in vivo comparative study of currently available and modified drills	Arch Orthop Trauma Surg. 2019 Nov;139(11):1599-1605.	Original Article
71	Wada T, Matsumoto H, Hagino H, et al.	リハビリテーション部	Customized exercise programs implemented by physical therapists improve exercise-related self-efficacy and promote behavioral changes in elderly individuals without regular exercise: a randomized controlled trial	BMC Public Health. 2019 Jul 9;19(1):917.	Original Article
72	Yamaguchi N, Morizane S, Yumioka T, et al.	泌尿器科	Flutamide as an Alternative Anti-androgen Agent and Predictor of the Efficacy of Novel Androgen Receptor-targeted Agents	Anticancer Res. 2019 Jul;39(7):3879-3885.	Original Article
73	Hagino H, Narita R, Yokoyama Y, et al.	リハビリテーション部	A multicenter, randomized, rater-blinded, parallel-group, phase 3 study to compare the efficacy, safety, and immunogenicity of biosimilar RGB-10 and reference once-daily teriparatide in patients	Osteoporos Int. 2019 Oct;30(10):2027-2037.	Original Article
74	Sawada M, Oishi T, Komatsu H, et al.	女性診療科群	Serum vascular endothelial growth factor A and vascular endothelial growth factor receptor 2 as prognostic biomarkers for uterine cervical cancer	Int J Clin Oncol. 2019 Dec;24(12):1612-1619.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
75	Murakami T, Tanishima S, Takeda C, et al.	整形外科	Ossified Metaplastic Spinal Meningioma Without Psammomatous Calcification: A Case Report	Yonago Acta Med. 2019 Jun 20;62(2):232-235.	Case report
76	Kimura Y, Honda M, Morizane S, et al.	泌尿器科	Effect of Intravesical Bacilli Calmette-Guerin Therapy After Second Transurethral Resection in Stage Ta T1 High-Grade Bladder Cancer	Yonago Acta Med. 2019 Jun 20;62(2):191-197.	Original Article
77	Kinugasa Y, Nakayama N, Sugihara S, et al.	第一内科診療科群	Polypharmacy and taste disorders in heart failure patients	Eur J Prev Cardiol. 2020 Jan;27(1):110-111.	Letter
78	Yamamoto K, Kinugasa Y, Sugihara S, et al.	第一内科診療科群	Ultrasonographic assessment of organs other than the heart in patients with heart failure	J Med Ultrason (2001). 2019 Oct;46(4):389-397.	Review
79	Osaku D, Taniguchi F, Moriyama M, et al.	女性診療科群	Retroperitoneal Endometrioid Carcinoma Arising from Ureteral Endometriosis	Case Rep Obstet Gynecol. 2019 Jun 10;2019:9273858.	Case report
80	Kawaguchi K, Isomoto H.	第二内科診療科群	Novel submucosal injection solution 0.6% sodium alginate: Bench to market for endoscopic submucosal dissection optimization	Dig Endosc. 2019 Jul;31(4):393-395.	Others
81	Moriwaki K, Matsumoto H, Tanishima S, et al.	整形外科	Association of serum bone- and muscle-derived factors with age, sex, body composition, and physical function in community-dwelling middle-aged and elderly adults: a cross-sectional study	BMC Musculoskelet Disord. 2019 Jun 5;20(1):276.	Original Article
82	Goto H, Sugita K, Shindo M, et al.	皮膚科	Granuloma formation clinically presenting as erythroderma in a patient with peripheral T-cell lymphoma	Eur J Dermatol. 2019 Jun 1;29(3):324-326.	Case report
83	Tada Y, Yamamoto M, Sunaguchi T, et al.	第一外科診療科群	Transabdominal preperitoneal repair for an adolescent patient with Hunter syndrome: a case report	Surg Case Rep. 2019 May 31;5(1):89.	Case report
84	Shimizu S, Saito H, Kono Y, et al.	第一外科診療科群	The prognostic significance of the comprehensive complication index in patients with gastric cancer	Surg Today. 2019 Nov;49(11):913-	Original Article
85	Iwamoto H, Morizane S, Koie T, et al.	泌尿器科	Peri-operative efficacy and long-term survival benefit of robotic-assisted radical cystectomy in septuagenarian patients compared with younger patients: a nationwide multi-institutional study in Japan	Int J Clin Oncol. 2019 Dec;24(12):1588-1595.	Original Article
86	Miyatani K, Saito H, Shimizu S, et al.	第一外科診療科群	Late start and insufficient S-1 dose in adjuvant chemotherapy can lead to poor prognosis in stage II/III gastric cancer	Int J Clin Oncol. 2019 Oct;24(10):1190-1196.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
87	Kitagawa Y, Nakaso K, Horikoshi Y, et al.	麻酔診療科群	System x(c)(-) in microglia is a novel therapeutic target for post-septic neurological and psychiatric	Sci Rep. 2019 May 17;9(1):7562.	Original Article
88	Hagino H, Sakai A, Ikeda S, et al.	リハビリテーション部	Effectiveness of monthly intravenous ibandronate on the low responders to oral bisphosphonate: the MOVEMENT study	J Bone Miner Metab. 2019 Nov;37(6):1013-1023.	Original Article
89	Saito H, Shimizu S, Kono Y, et al.	第一外科診療科群	Score of the preoperative absolute number of lymphocytes, monocytes, and neutrophils as a prognostic indicator for patients with gastric cancer	Surg Today. 2019 Oct;49(10):850-858.	Original Article
90	Murakami Y, Saito H, Shimizu S, et al.	第一外科診療科群	Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio as a Prognostic Indicator in Patients With Unresectable Gastric Cancer	Anticancer Res. 2019 May;39(5):2583-2589.	Original Article
91	Sakaguchi T, Kinoshita H, Isomoto H.	第二内科診療科群	Modified laser-based photodynamic endoscopic diagnosis for early gastric cancer	Dig Endosc. 2019 Jul;31(4):e84-e85.	Case report
92	Sakamoto T, Saito H, Amisaki M, et al.	第一外科診療科群	Combined preoperative platelet-to-lymphocyte ratio and serum carbohydrate antigen 19-9 level as a prognostic factor in patients with resected pancreatic cancer	Hepatobiliary Pancreat Dis Int. 2019 Jun;18(3):278-284.	Original Article
93	Honda M, Kimura Y, Tsounapi P, et al.	泌尿器科	Long-Term Efficacy, Safety, and Tolerability of Modified Intravesical Oxybutynin Chloride for Neurogenic Bladder in Children	J Clin Med Res. 2019 Apr;11(4):256-260.	Original Article
94	Iwamoto H, Morizane S, Hikita K, et al.	泌尿器科	Postoperative inguinal hernia after robotic-assisted radical prostatectomy for prostate cancer: evaluation of risk factors and recommendation of a convenient	Cent European J Urol. 2019;72(4):418-424.	Original Article
95	Honda M, Tsounapi P, Teraoka S, et al.	泌尿器科	Effects of intravesical administration of sensory neuron-specific receptor agonist on voiding function in rats with cyclophosphamide-induced cystitis	Cent European J Urol. 2019;72(2):142-148.	Original Article
96	Amisaki M, Yagyu T, Uchinaka E, et al.	第一外科診療科群	Impact of postoperative mean arterial pressure on the incidence of postoperative complications after hepatic resection for primary liver malignancy	Surg Today. 2019 Jun;49(6):488-497.	Original Article
97	Ehara Y, Sugita K, Goto H, et al.	皮膚科	Multiple microvenular hemangioma eruptively concentrated on an adult face: Importance of clinical differential diagnosis	J Dermatol. 2019 Jun;46(6):e205-e206.	Case report
98	Taneda K, Adachi T, Watanabe Y, et al.	脳神経内科	Cerebral Venous Thrombosis due to Nontyphoidal Salmonella Bacteremia	Intern Med. 2019 Jul 1;58(13):1943-1946.	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
99	Isomoto H, Kanda T.	第二内科診療科群	First human application of a flexible 3-D endoscope for gastrointestinal endoscopic submucosal dissection	Intern Med. 2019 Jul 1;58(13):1943-1946.	Others
100	Sugihara T, Isomoto H, Gores G, et al.	第二内科診療科群	YAP and the Hippo pathway in cholangiocarcinoma	J Gastroenterol. 2019 Jun;54(6):485-491.	Review

(注) 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および

- 1 評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	藤井 進也	放射線科	産婦人科領域の画像検査の推奨度に関する、ガイドライン間の齟齬の研究	米子医学雑誌(0044-0558)70巻4-6号 Page45-47(2020.03)	Original Article
2	射場 靖弘、松本 浩実、米山 久美子 他	リハビリテーション部	急性期大学病院における入院患者の心理特徴に基づく転倒と関連因子について インシデントレポートに基づく横断研究	日本転倒予防学会誌(2188-5702)6巻3号 Page25-33(2020.03)	Original Article
3	植嶋 千尋、山本 学、原 和志 他	第一外科診療科群	直腸癌術後にリンパ節転移を伴う孤立性小腸転移を来した1例	癌と化学療法(0385-0684)47巻3号 Page463-465(2020.03)	Original Article
4	井上 幸次、宮崎 大、馬場 高志 他	眼科	眼感染症への取り組み 基礎から臨床まで	日本眼科学会雑誌(0029-0203)124巻3号 Page155-184(2020.03)	Review
5	福岡 晃平、陶山 淑子、森田 真紀 他	形成外科	【分層採皮創の治療戦略】分層採皮創に対する余剰植皮片移植の効果	形成外科(0021-5228)63巻3号 Page308-313(2020.03)	Original Article
6	福原 隆宏、堂西 亮平、松田 枝里子 他	頭頸部診療科群	リンパ節超音波診断の標準化を目指して 頸部リンパ節超音波診断の普及について	乳腺甲状腺超音波医学(2187-2880)9巻1号 Page62-64(2020.01)	Original Article
7	磯本 一、河口 剛一郎	第二内科診療科群	根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌症例の死因に関するコホート研究	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告33巻 Page35-40(2019.05)	Original Article
8	中村 廣繁、城所 嘉輝、門永 太一 他	呼吸器外科	鳥取県における女性肺がんの動向と臨床病理学的特徴	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告33巻 Page22-28(2019.05)	Original Article
9	前垣 義弘、西村 洋子	脳神経小児科	鳥取県における発達障がい児童の実態と関連要因に関する研究	疾病構造の地域特性対策専門委員会報告33巻 Page1-	Original Article
10	山家 健作、棕 大知、尾崎 まり 他	整形外科	切除困難な骨巨細胞腫に対するデノスマブの使用経験	中部日本整形外科学会雑誌(0008-9443)62巻6号 Page1069-1070(2019.11)	Original Article
11	小作 大賢、小松 宏彰、澤田 真由美 他	女性診療科	細胞診により子宮頸部大細胞神経内分泌癌を推定した2例	日本臨床細胞学会雑誌(0387-1193)58巻6号 Page272-278(2019.11)	Original Article

(様式第3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
12	村上 敦史、福永健、椋田 奈保子 他	放射線科	卵巣類内膜境界悪性腫瘍の1例	臨床放射線(0009-9252)64巻13号 Page1555-1558(2019.12)	Original Article
13	落合 諒也、藤井進也、工藤 明子 他	放射線科	赤色変性様の画像所見を呈した子宮平滑筋肉腫の1例	臨床放射線(0009-9252)64巻13号 Page1549-1554(2019.12)	Original Article
14	武田 知加子、谷島伸二、三原 徳満 他	整形外科	頸椎症性脊髄症患者に対する椎弓形成術後の頸部痛についての検討	日本脊髄障害医学会雑誌(1348-3242)32巻1号 Page118-121(2019.05)	Original Article
15	椋 大知、山家 健作、尾崎 まり 他	整形外科	整形外科を初診し肉腫以外の悪性腫瘍と診断された症例の検討	整形外科と災害外科(0037-1033)68巻3号 Page435-	Original Article
16	山家 健作、椋 大知、尾崎 まり 他	整形外科	大腿骨転移性骨腫瘍の手術成績	整形外科と災害外科(0037-1033)68巻3号 Page407-	Original Article
17	谷島 伸二、武田知加子、小川 慎也 他	整形外科	腰部脊柱管狭窄症手術におけるサルコペニアの影響	中部日本整形外科学会雑誌(0008-9443)62巻4号 Page683-684(2019.07)	Original Article
18	山田 祐子、河場康郎、横山 浩己 他	小児科	重複腎動脈を伴う本態性高血圧を合併したOHVIRA症候群の1例	日本小児腎臓病学会雑誌(0915-2245)32巻2号 Page130-134(2019.11)	Case report
19	仲田 佑未、田仲祐子、室田 博美 他	検査部	GeneXpertを用いたClostridioides difficile毒素検出能の評価	医学検査(0915-8669)68巻4号 Page707-711(2019.10)	Original Article
20	三和 健、宮本 竜弥、高木 雄三 他	呼吸器外科	奇静脈食道陥凹に発生したブラに対する胸腔鏡手術症例の検討	日本呼吸器外科学会雑誌(0919-0945)33巻7号 Page701-705(2019.11)	Original Article
21	黒崎 雅道、長尾裕一郎、小椋 貴文 他	脳神経外科	海綿静脈洞浸潤を伴うmacroprolactinomaに対するカベルゴリン治療と画像評価	日本内分泌学会雑誌(0029-0661)95巻 Suppl.HPT Page42-44(2019.09)	Original Article
22	渡辺 保裕	脳神経内科	【ALS 2019】ALSとFTD	BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩(1881-6096)71巻11号 Page1227-1235(2019.11)	Review

(様式第3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
23	萩野 浩	リハビリテーション部	大腿骨近位部骨折の疫学	日本骨粗鬆症学会雑誌(2189-8383)5巻3号 Page391-394(2019.08)	Review
24	渡辺 圭介、大栗聖由、西村 洋子 他	脳神経小児科	両側性の筋萎縮を呈した早期発症の平山病(若年性一側上肢筋萎縮症)の女児例	鳥取医学雑誌(0388-3795)47巻1-2号 Page27-30(2019.06)	Case report
25	安達 真紀子、森木邦明、石川 由美子 他	薬剤部	小児患者処方の疑義照会分析を基にした1回量・製剂量処方システム導入に伴う小児投与量制限機能の構築	日本病院薬剤師会雑誌(1341-8815)55巻9号 Page1051-1058(2019.09)	Original Article
26	武田 洋平、松本和也、菓 裕貴 他	第二内科診療科群	膵管癌の診断における合成セクレチン負荷膵液細胞診の有効性と安全性	Gastroenterological Endoscopy(0387-1207)61巻8号 Page1591-1598(2019.08)	Original Article
27	西川 涼馬、寺岡祥吾、木村 有佑 他	泌尿器科	ロボット支援腎部分切除術におけるR.E.N.A.L nephrometry scoreと手術成績の検討	西日本泌尿器科(0029-0726)81巻4号 Page429-434(2019.08)	Original Article
28	佐伯 由美、長尾久之、角 恵美 他	看護部	OLSについての最新の話題 リエゾンサービスによる二次骨折予防の有効性の検討	日本骨粗鬆症学会雑誌(2189-8383)5巻2号 Page332-334(2019.05)	Original Article
29	権田 拓郎、福永健、石橋 愛 他	放射線科	悪性腫瘍との鑑別に苦慮した骨盤内アミロイドーシスの1例	臨床放射線(0009-9252)64巻9号 Page1185-1189(2019.08)	Case report
30	柳樂 慶太、榎田誠、林 育太 他	整形外科	骨端線閉鎖後に発症した広範囲膝離断性骨軟骨炎の3例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)62巻3号 Page429-430(2019.05)	Case report
31	原田 智也、山崎草、伊藤 悟 他	第三内科診療科群	山陰地区における血管炎診療の実態調査	臨床リウマチ(0914-8760)31巻2号 Page126-134(2019.06)	Original Article
32	庄川 久美子、福原隆宏、竹内 裕美	看護部	【甲状腺外科治療に対する医療安全】当院における「頸部周術期管理ガイドライン」の運用について 現時点での状況評価と問題点	日本内分泌外科学会雑誌(2434-6535)36巻2号 Page79-83(2019.06)	Original Article
33	八島 一夫、長谷川亮介、謝花 典子 他	第二内科診療科群	ピロリ菌感染を考慮した胃がん検診の取り組み 鳥取県・伯耆町における試み	日本消化器がん検診学会雑誌(1880-7666)57巻4号 Page561-570(2019.07)	Original Article

(様式第3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
34	仲田 夢人、渡部 加奈子、市川 ひとみ 他	検査部	生化学自動分析装置を用いた垂鉛測定試薬の基礎的検討	日本臨床検査自動化学会会誌(0286-1607)44巻3号 Page258-263(2019.06)	Original Article
35	山崎 章、原田 智也、福嶋 健人 他	第三内科診療科群	医学部学生に対する吸入器を用いた体験実習の試み 実習後のアンケート調査から見えるもの	Therapeutic Research(0289-8020)40巻6号 Page487-496(2019.06)	Original Article
36	法正 恵子、松木 由佳子、福田 哲也 他	検査部	歯周炎が原因と考えられた Fusobacterium nucleatumによる肝膿瘍の1症例	米子医学雑誌(0044-0558)70巻1-3号 Page34-39(2019.05)	Case report
37	木村 良子、山田 七子、伊藤 亜矢子 他	皮膚科	【皮膚真菌症(8)】臨床例 前腕に生じたTrichophyton interdigitaleによる生毛部急性深在性白癬	皮膚病診療(0387-7531)41巻6号 Page527-530(2019.06)	Case report
38	落合 諒也、加藤 亜結美、福原 隆宏 他	放射線科	頸部放線菌症の1例	臨床放射線(0009-9252)64巻5号 Page733-738(2019.04)	Case report
39	寺岡 祥吾、西川 結梨、山根 浩史 他	泌尿器科	MRI-超音波融合ガイド下前立腺生検の有効性の検討	日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌(1347-5010)27巻1号 Page19-21(2019.03)	Original Article
40	馬場 高志、船越 泰作、井上 幸次	眼科	イマチニブによる結膜浮腫のため休薬して白内障手術を施行した1例	臨床眼科(0370-5579)73巻5号 Page589-593(2019.05)	Case report
41	吉田 健太郎、足立 正、中本 成紀	脳神経内科	エタネルセプト投与下に発症した結核性髄膜炎の1例	脳神経内科(2434-3285)90巻4号 Page460-464(2019.04)	Case report
42	春木 智子、唐下 千寿、大谷 史江 他	眼科	顆粒状角膜ジストロフィのため治療的レーザー角膜切除術を必要とした6歳女児の1例	臨床眼科(0370-5579)73巻4号 Page483-489(2019.04)	Case report
43	森尾 倫子、山崎 厚志、稲田 耕大 他	眼科	網膜中心動脈閉塞を伴う巨細胞性動脈炎を生じたりウマチ性多発筋痛症の1例	臨床眼科(0370-5579)73巻4号 Page443-449(2019.04)	Case report

(注) 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資す

1 るものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 目的と適応範囲 1. 1. 目的 1. 2. 適応範囲 2. 委員会の構成 2. 1. 委員 2. 2. 委員会事務局 2. 3. 教育・研修 2. 4. 守秘義務 2. 5. 利益相反の管理 3. 審査・報告事項 4. コンサルテーション 5. 審査・報告申請 5. 1. 審査・報告資料の提出 5. 2. 提出資料 6. 倫理審査 6. 1. 一般審査 6. 2. 迅速審査 7. 審査結果の通知 8. 審査結果通知後の対応 9. 調査 10. 他の研究機関からの審査依頼 11. 情報公開 12. 記録の保管	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 36 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 (目的) 鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反(以下「利益相反」という。)が深刻な事態へと発展することを未然に防止するため、臨床研究に係る利益相反の適切な管理(以下「利益相反マネジメント」という。)に関し必要な事項を定め、もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。 (利益相反マネジメントの対象及び基準) 利益相反マネジメントの対象者は、次に掲げる者 一 臨床研究実施者等 二 臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の扶養親族 三 その他審査委員会が必要と判断した者 開示対象とする事項 一 経済的利益 二 経営関与 利益相反マネジメントは、臨床研究を実施するに当たり、被験者及び社会に対し、教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。 (臨床研究実施者等の責務) 利益相反の発生が懸念される場合は、この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか、透明性、公正性の確保に自ら努める。 (臨床研究利益相反審査委員会の業務等) 一 利益相反の防止に関すること。 二 利益相反に係る調査及び審査に関すること。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 9 回
・研修の主な内容 1. 研究責任者の資格 2. 臨床研究方法論と研究デザイン 3. 非臨床試験戦略 4. 統計解析手法 5. データ管理と品質マネジメント 6. 研究計画書作成・統計解析実践・モニタリングのワークショップ	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科の研修統括者のもと指導医による専門研修の指導を行っており、新専門研修制度においては、本院を基幹施設として県内外の関連病院を連携施設とした専門研修プログラムを策定し、各領域において高度な医療に関する研修の指導体制を構築している。また、各領域の研修プログラムにおいては、専門医資格の取得をはじめ、大学院重点コースや地域医療に配慮したコースを設定し、高度な医療に関する専門知識・技術、資質を習得し、社会に貢献できる医師の育成を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	73 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 一博	循環器内科／ 内分泌代謝内科	主任診療科長	34年	内科含む
磯本 一	消化器内科／ 腎臓内科	主任診療科長	30年	内科含む
山崎 章	呼吸器内科／ 膠原病内科／ アレルギー科	主任診療科長	27年	内科含む
兼子 幸一	精神科	診療科長	35年	
難波 範行	小児科	診療科長	29年	
藤原 義之	消化器外科／ 小児外科	診療科長	33年	
西村 元延	心臓血管外科	診療科長	37年	
中村 廣繁	呼吸器外科／ 乳腺内分泌外科	主任診療科長	36年	
永島 英樹	整形外科／ リウマチ科	診療科長	32年	
山元 修	皮膚科	診療科長	38年	
武中 篤	泌尿器科	診療科長	34年	

井 上 幸 次	眼科	診療科長	39年	
竹 内 裕 美	耳鼻咽喉科／ 頭頸部外科	主任診療科長	39年	
藤 井 進 也	放射線科	診療科長	22年	
吉 田 賢 史	放射線治療科	診療科長	22年	
原 田 省	産婦人科	主任診療科長	37年	
稲 垣 喜 三	麻酔科	主任診療科長	39年	
小 谷 勇	歯科口腔外科	診療科長	26年	
今 村 武 史	薬物療法内科	診療科長	33年	
八 木 俊路朗	形成外科	診療科長	19年	
上 田 敬 博	救急科	診療科長	22年	
福 田 哲 也	血液内科	診療科長	31年	内科含む
花 島 律 子	脳神経内科	診療科長	30年	内科含む
黒 崎 雅 道	脳神経外科	診療科長	30年	
前 垣 義 弘	脳神経小児科／ 遺伝子診療科	診療科長	32年	
梅 北 善 久	病理診断科／ 神経病理診断科	主任診療科長	33年	
千 酌 浩 樹	感染症内科	診療科長	32年	内科含む

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1. ホスピタリティ研修

- ・研修の主な内容 医療従事者として必要なホスピタリティを体験学習から学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成31年4月10日・1回
- ・研修の参加人数 117人

2. 接遇研修

- ・研修の主な内容 よりよい看護サービスを提供するための接遇を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成31年4月4日・1回
- ・研修の参加人数 81人

3. BLS研修

- ・研修の主な内容 一次救命処置の知識を習得する
- ・研修の期間・実施回数 令和元年5月～8月の間・16回
- ・研修の参加人数 185人

4. 災害看護研修

- ・研修の主な内容 災害時における看護を理解する
- ・研修の期間・実施回数 令和元年7月31日・1回
- ・研修の参加人数 84人

5. ポジティブマネジメント

- ・研修の主な内容 ポジティブマネジメントを学ぶ（強みを引き出し、その人らしさを支える）
- ・研修の期間・実施回数 令和元年9月5日・1回
- ・研修の参加人数 134人

6. 倫理研修基礎

- ・研修の主な内容 臨床での論理的課題に関する事例検討を通じて、倫理観を醸成するため
- ・研修の期間・実施回数 平成31年4月4日・1回
- ・研修の参加人数 81人

7. コミュニケーション研修

- ・研修の主な内容 コミュニケーション方法を理解する
- ・研修の期間・実施回数 令和元年7月3日・1回
- ・研修の参加人数 73人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

1. 勤務時間管理研修会

- ・研修の主な内容 勤務時間管理の職務に従事するにあたり、必要な知識・技術を習得する
- ・研修の期間・実施回数 令和元年8月21日・8月22日・2回
- ・研修の参加人数 19人

2. メンタルヘルスセルフケア・マネジメント研修

- ・研修の主な内容 管理職員を対象に、安全配慮義務とメンタルヘルス不全による休職者、復職者への対応、特に予兆段階、復職時の対応、職場復帰後のフォローまでのポイントや法的な留意点を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 令和元年12月17日・1回
- ・研修の参加人数 17人

3. 労務管理研修会

- ・研修の主な内容 本学の就業規則、労使協定を踏まえて、長時間労働による健康障害の防止（安全配慮義務）、勤務時間管理等について意識啓発を行う。また、障害者差別解消法の施行に伴う対応等について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 令和元年8月27日・1回
- ・研修の参加人数 7人

4. ハラスメント防止研修会

- ・研修の主な内容 ハラスメント防止に関する基本的な知識を修得し、ハラスメントのない職場作りを行う
- ・研修の期間・実施回数 令和元年6月21日・1回
- ・研修の参加人数 27人

5. ハラスメント相談研修会

- ・研修の主な内容 ハラスメント相談員の役割を理解するとともに、相談員としてハラスメント相談を受ける際に必要な傾聴のスキル等を習得する
- ・研修の期間・実施回数 令和元年6月21日・1回
- ・研修の参加人数 8人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 原田 省
管理担当者氏名	総務課長浦田明宏、医事課井中康夫、医療支援課木村博明

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事	病院日誌	総務課	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理。 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管）。 なお、診療録を病院外に持ち出すことは禁止している。 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	医療情報部	
		手術記録	医療情報部	
		看護記録	医療情報部	
		検査所見記録	医療情報部	
		エックス線写真	医療情報部	
		紹介状	医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	三 規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	高度の医療の研修の実績は、年度毎に紙媒体で管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課 医学図書館	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	に 規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 MEセンター	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 原田 省	
閲覧担当者氏名	総務課長 浦田 明宏、医事課長 井中 康夫、医療支援課長 木村 博明	
閲覧の求めに応じる場所	談話室	
閲覧の手続の概要		
① 公開は、請求者が「開示請求書」を情報公開窓口の総務企画部総務課広報企画係に提出する。		
② 大学は開示・不開示の決定を行い、「決定通知書」により請求者へ通知する。		
③ 請求者は、開示の実施方法・希望日を「開示の実施方法の申出書」により窓口へ申し出、開示実施手数料を支払う。		
④ 開示（閲覧）を実施する。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地 方 公 共 団 体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理に関する基本的考え方 (2) 安全管理のための組織に関する基本的事項 (3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 本院における医療従事者と患者及び家族等との間の情報の共有に関する基本方針 (7) 患者及び家族等からの相談への対応に関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無 (☑・無) ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： 医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。 (審議事項) ・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること ・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること ・ 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること ・ 医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること ・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと ・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年112回
・ 研修の内容 (すべて)： ・ 医療安全研修会 (9回) ・ DVD視聴研修会 (9回) ・ 配付DVD研修会 (2回) ・ Eラーニング研修会 (2回)	

- ・委託業務従事者研修会（２回）
- ・医療機器研修会（１５回）
- ・BLS出張講習会（２１回）
- ・薬剤関連研修会（３回）
- ・病院情報システム研修会（２４回）
- ・新採用・中途採用オリエンテーション（２３回）
- ・院内認定看護師育成研修（２回）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・医療機関内における事故報告等の整備（☒有・無）
- ・その他の改善のための方策の主な内容：

（報告の分析）

1. 医療安全管理責任者の指示のもと、医療安全管理者が、インシデント報告書を基に①内容 ②原因と要因 ③改善策 ④患者影響レベル ⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。
2. 1を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。

（検討方法）

1. 医療安全管理責任者を中心に、医療安全管理者、リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。
2. 医療安全管理者は毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長連絡会リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議等で報告し検討している。
3. 事例によっては、クオリティ審査専門委員会・拡大クオリティ審査専門委員会等で審査を行う。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊟・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 感染管理組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する「鳥取大学医学部附属病院における院内感染対策のための指針」の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針 8. 職業感染防止のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 感染予防の対策に関すること 2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること 3. 感染予防に係る情報の収集に関すること 4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること 5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
・ 研修の内容（すべて）： ・ 病院機能評価受審に向け、標準予防策を見直す！～環境整備と个人防护具の適切な使用等～ ・ 「グローバル時代の感染症対策」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (㊟・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA感染症治療薬および広域抗菌薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討 ・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導 ・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応 ・ 感染制御部メンバーによる定期ミーティング	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年40回
・ 研修の主な内容： ・ 医療安全研修会「院内鎮静・鎮痛マニュアルについて」（1回） ・ インスリン注射の基礎知識（1回） ・ 静脈注射院内認定看護師育成研修（1回） ・ 造影剤静脈注射院内認定看護師育成研修（1回） ・ 病院情報システム・リスクマネジメント「処方オーダー時の留意点について」（22回） ・ 薬剤師による出張研修（11回） ・ 鳥取大学医学部附属病院新採用職員オリエンテーション「薬剤部について（医薬品安全使用を含めて）」（1回） ・ 研修医プレローテーション（1回） ・ 新人看護師研修「毒薬・劇薬・向精神薬・麻薬の取り扱いについて」（1回）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成（有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入に関する事項 ・ 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等） ・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法 ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 ・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法 ※未承認等の医薬品の情報その他の情報の収集） ・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集 ・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握 ・ 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等） （情報の周知方法） ・ 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る ・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会 ・ 書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供 ・ 医師等の個人に直接情報提供 ・ 病棟担当薬剤師による医師薬剤師への説明会	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年119回
・ 研修の主な内容： ・ 輸血ポンプ・シリンジポンプ（2回） ・ 人工呼吸器研修会（1回） ・ 鎮静・鎮痛ワークショップ（1回） ・ 人工呼吸非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）（1回） ・ 気管切開研修会（1回） ・ 中心静脈挿入のための安全管理研修会（2回） ・ CVポート管理研修会（2回） ・ PICC管理研修会（2回） ・ J-VAC研修会（1回） ・ チェスト・ドレーン・バック研修会（2回） ・ 保育器・人工心肺装置・除細動器・血液浄化装置・その他（104回）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定（有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ MEセンターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用后点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。 ・ 現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、MEセンターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。 ・ 保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し、業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けたMEが実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。 ・ 精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備（有・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法） ・ 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求めている。 （情報の周知方法） ・ 医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内に周知する。 ・ 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い、周知を図っている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無								
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 副病院長（医療安全）を配置している。 （職務内容） 医療安全管理部、医療事故防止等対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、インフォームド・コンセント説明等責任者の統括をしている。									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無								
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医療安全管理部や医療安全に係る委員会等と連携の下、次の業務を行う。 1. 医薬品の安全のための業務に関する手順書の作成並びに改定 2. 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 3. 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 4. 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品の使用状況は医薬品情報管理室にて一元管理を行い、定期的に（月一回程度）その結果を報告させ、必要な介入の指示を行い、実施させる。 ・ 担当者の指名の有無（有・無） ・ 担当者の所属・職種： <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> </table>		（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）
（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無								
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （有・無）									

- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
- ・説明等の実施に必要な方法に関して、インフォームド・コンセントマニュアル等に定められた事項の遵守状況を定期的に確認している。
- ・説明方法、内容、文書管理等についての検討事項は、適宜インフォームド・コンセント専門委員会でルール化している。
- ・不適切な事例が認められる場合は、当該部署へ指導を行うとともに、必要に応じて院内文書（インフォームド・コンセント便り等）により病院全体へ周知している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録管理委員会内に診療録監査専門部会を設置し、診療録等の記載内容、退院サマリーの作成状況、カウンターサインの実施状況等を毎月確認している。内容の記載不備、未作成又は未実施など不備がある場合は、担当医師に直接指導を行っている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
・所属職員：専従（３）名、専任（１）名、兼任（１１）名 うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（７）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち看護師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 ※事務 専任（１）名、兼任（１）名 （注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ・医療安全に関わる委員会の運営並びにその記録、資料等の作成及び保存に関すること ・医療安全に係る教育・研修の企画・立案・運営・学習効果測定の実施に関すること ・医療事故及びこれに準じて取り扱うことが必要な事象（以下「医療事故等」という。）が発生した場合における診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関すること ・医療事故等が発生した場合における患者又はその家族への説明などの対応状況についての確認及	

び指導に関すること

- ・ 医療事故等の発生原因の究明等対応状況が適切に実施されていることの確認及び当該確認結果に基づく医療従事者への必要な指導に関すること
- ・ 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びにそれに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録に関すること
- ・ 医療安全に資する診療内容及び医療従事者の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること（診療録管理委員会にて監査を実施）
- ・ 死亡例及び合併症の報告等に関すること
- ・ 医療安全に係る内部通報に関すること
- ・ 医薬品及び医療機器の安全管理に係る助言指導に関すること
- ・ インフォームド・コンセント及び診療録の管理の適切な実施に係る助言指導に関すること
- ・ 医療安全に係る外部監査に関すること
- ・ 医療安全に関わる委員会とその連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い、その他ゼネラルリスクマネージャーの活動実績の記録に関すること
- ・ 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施に関すること
- ・ 特定機能病院間相互のピアレビューの実施に関すること
- ・ 医療安全管理に係る連絡調整に関すること
- ・ 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関すること
- ・ 未承認新規医薬品・医療機器の使用に関すること
- ・ その他本院における医療安全の確保のための対策の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（13 件）、及び許可件数（11 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

- ・ 高難度新規医療技術等に該当するか否かの判断に関する事
- ・ 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供申請の適否等の決定及び結果通知に関する事
- ・ 関係する委員会等との調整に関する事
- ・ 提供を認めた高難度新規医療技術等の周知及び関係者への指導に関する事
- ・ 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関する事
- ・ 患者申出療養の実施の可否に関する事
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (☒ ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (4 4 件) 、及び許可件数 (3 8 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 活動の主な内容 :
- ・ 未承認新規医薬品・医療機器に該当するか否かの判断に関する事
- ・ 未承認新規医薬品・医療機器の使用申請の適否等の決定及び結果通知に関する事
- ・ 関係する委員会等との調整に関する事
- ・ 使用を認めた未承認新規医薬品・医療機器の周知及び関係者の指導に関する事
- ・ 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関する事
- ・ 患者申出療養の実施の可否に関する事
- ・ その他必要と認められる業務
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 5 3 4 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実事及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 1 4 0 件 (実数 : 1 2 0 件)

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療安全管理部が、入院患者の死亡事例を確認し、その中で異状死、問題のある症例、診療科から報告のあった死亡事例については、さらに詳しく検証を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒）（病院名：大阪大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒）（病院名：金沢大学附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
- ・「医師 GRM に業務が集約してしまっている」との指摘があり、専従の医師 GRM の補充を検討し、4 月より専従の医師 GRM が 1 名増員となり、業務の分担を行った。
- ・「外部監査に医療機器、医薬品安全管理責任者の同席が望ましい」との指摘があり、外部監査委員の同席者について検討し、第 2 回目の外部監査より、医療機器、医薬品安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者も同席することとした。
- ・「死亡例の報告事例の把握について、薬剤師 GRM も把握に加わることが望ましい」との指摘があり、薬剤師の死亡事例の把握について検討し、医師 GRM、看護師 GRM、薬剤師 GRM で死亡例について共有することとした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

（設置状況等）

平成 15 年 4 月 1 日に医療相談室を設置し、現在、医療相談室長（医師）1 名、医事課及び医療支援課の事務職員 17 名の相談員を配置している。

また、令和 2 年 5 月 1 日に総合患者相談窓口を新設し、専任の相談員を配置するとともに看護師及び医療支援課の事務職員 15 名の相談員が連携対応している。

相談受付時間は、平日 8：30 から 17：00（土日祝日除く）としている。

（活動状況等）

医療相談室及び総合患者相談窓口の相談員が、医療安全管理部（医療安全管理者）と協力して患者等からの安全管理を含めた医療に関する相談や苦情などに適切に対応している。

対応にあたっては、患者等の秘密の厳守及び患者が不利益を受けないよう適切な措置を講じながら適切かつ迅速に問題を解決するよう努めている。

また、必要に応じて、医師、看護師等各部署と協力して対応にあたり、途中経過及び結果を病院長に報告しているとともに、総合患者相談窓口では毎週、関係部署で 1 週間の事例共有と対応評価

のカンファレンスを実施している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

職員の医療の安全に関する意識、職員間の相互に連携して業務を行なうことについての認識、業務を安全に行なうための技能向上等を目的とした研修は、医療安全研修会、医療機器研修会等で実施している。

現在は、研修後、アンケートにより理解度の測定を実施しているが、今後、より研修の効果を確認できる方法を検討することとしている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を「特定機能病院管理者研修」、医薬品安全管理責任者を毎年「日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会」や「特定機能病院管理者研修」に参加させるなどの措置を講じている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
基準の主な内容	
医師免許を有している者 鳥取大学医学部附属病院の主任診療科長、診療科長又は診療施設の長に併任されているもの。 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者 ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務 ② 医療事故防止等対策委員会の構成員としての業務 ③ 医療安全管理部における業務 ④ その他上記に準ずる業務 組織管理能力等の医学部附属病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有している者 ① 病院長又は副病院長の経験 ② 診療科長又は診療施設等の長の3年以上の経験 教育・研究・診療に必要な資質及び能力を有している者 大学の医学系教授の経験があり、学識に優れ、医学教育、医学研究及び高度医療を担うことができる能力を有している者	
- 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・無 ） - 公表の方法 鳥取大学HP	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ ☒			
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） - 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有 ・ ☐ 無	
・ 合議体の主要な審議内容 管理運営上の諸種の事項の調査審議し、これらに関し必要な事項を建議する。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 医学部附属病院ホームページにより公表 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無) ・ 公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無 (有 ・ ☒ 無)			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職

役職指定で構成員が決まっているため名簿の作成はおこなっていない。

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 公表の方法

鳥取大学ホームページにより公表

- ・ 規程の主な内容

病院経営・企画の専門的事項に関する業務

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長（総務）評価監査・人事労務・教育・キャリアアップ支援・特定行為等

副病院長（経営・広報）経営・広報・先進医療・臨床試験・国際交流等

副病院長（医療安全）診療録・災害対策・個人情報保護

副病院長（医療の質管理）患者サービス等

病院長特別補佐（業務改善）病院業務改善等

病院長特別補佐（地域連携）地域包括ケアシステムの構築・病院機能分化

病院長特別補佐（患者サービス）メディエーター・地域医療等

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院長会議等が企画する「病院長塾」「病院経営次世代リーダー養成塾」への参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					有・無
・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： ・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査 ・ 病院の医療安全に係る管理状況及び改善状況に関する審議 ・ 監査及び審議結果の学長及び病院長への報告 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法： 病院のホームページ及び大学のホームページにて公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中岡 明久	独立行政法人 労働者健康安全 機構山陰労災病 院副院長・医療 安全管理部長	○	医療に係る安全管 理に関する識見を 有する者として適 任であるため。	有・無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見 を有する者として 適任であるため。	有・無	1
前田 純子	NPO 法人岡山 SP 研究会代表		医療を受ける者 で、かつ医療従事 者以外であり、医 療安全管理につい ての知識を有する 者として適任であ るため。	有・無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

経営協議会を設置し、外部委員を含めた構成員により年数回開催している。

・ 専門部署の設置の有無 (☒ ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (☒ ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (☒ ・ 無)

・ 公表の方法

鳥取大学ホームページにより公表

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会を設置し、外部委員を含めた構成員により開催している。 ・ 会議体の実施状況（ 年5回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ ・ 無 ）（ 年3回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
中島 廣光	学長	○	☒ ・ 無
田村 文男	理事・副学長		☒ ・ 無
河田 康志	理事・副学長		☒ ・ 無
細井 由彦	理事・副学長		☒ ・ 無
松田 成史	理事・副学長・事務局長		☒ ・ 無
藪田 千登世	理事・副学長		☒ ・ 無
原田 省	医学部附属病院長・副学長		☒ ・ 無
江崎 信芳	公立大学法人公立環境大学学長		有・ ☒
熊埜御堂 朋子	NHK 鳥取放送局 局長		有・ ☒
林田 英樹	元文化庁長官		有・ ☒
平井 伸治	鳥取県知事		有・ ☒
松本 典子	学校法人藤田学院鳥取短期大学 学長		有・ ☒
宮崎 正彦	(株)鳥取銀行 代表取締役会長		有・ ☒
吉岡 秀樹	(株)新日本海新聞社 取締役		有・ ☒
渡辺 憲	公益財団法人鳥取県医師会会長		有・ ☒

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (☒ ・ 無)
・ 通報件数 (年 1 件)
・ 窓口提供情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための 方策その他窓口の設置に関する必要な定め (☒ ・ 無)
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (☒ ・ 無)
・ 周知の方法 ホームページで公表

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名： 公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期： 2020年3月6日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院の最新医療情報や地域からニーズのある情報、そして旬な話題を発信している。 ・ホームページ：随時更新 ・広報誌「とりだい病院ニュース」：3回発行 ・広報誌「カニジル」：3回発行 ・外来担当医のご紹介：1回発行 ・メディカルレター：6回程度発行 ・新聞特集：2回程度掲載 ・ケーブルテレビ：毎月放送 ・院内セミナー（健康ミニ講座）：月2回程度開催 ・院外セミナー（メディカルセミナー）：2回開催 ・公式SNS(face book, twitter)：随時発信	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院では、低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている、 また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、 ・褥瘡対策チーム、・緩和ケアチーム、・糖尿病医療支援チーム、・栄養サポートチーム、 ・感染対策チーム、・抗菌薬適正使用支援チーム・転倒・転落予防チーム、・生殖医療チーム、 ・呼吸サポートチーム・ラピッドレスポンスシステム検討チーム、・早期離床リハビリテーションチーム、 ・認知症ケアサポートチーム、・肝疾患サポートチーム、・摂食嚥下リハビリテーションチームなど、複数診療科が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。	